

拠出金名:米州投資公社 出資金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				256,215千円	
国際機関等名	米州投資公社 (英文名称・略称) Inter-American Investment Corporation (IIC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	財務省国際局開発機関課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千ドル)	レート	ODA率(%)
平成19年度	256,215	2,209		1米ドル = 116円	100
平成18年度	245,171	2,209		1米ドル = 111円	100
平成17年度	236,336	2,209		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途	中南米の開発途上国の経済開発を促進を目的とした、民間中小企業に対する投融資の実施。				
拠出上位5ヶ国(注)				国際機関等の財政 (2006年12月末決算)	
	国名	金額 (千米ドル)(注)	率(%) (注)	当該年度の収入 105百万米ドル	
1位	米国	125,000	25.0	当該年度の支出 22百万米ドル	
2位	アルゼンチン	54,400	10.9	次年度への繰越 83百万米ドル	
2位	ブラジル	54,400	10.9	会計検査機関名	
4位	メキシコ	35,020	7.0	Ernst & Young	
5位	ベネズエラ	30,630	6.1		
(注)第1次増資(2001年)全体におけるシェア及び拠出総額。日本は第6位、シェア3.5%。					
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
米州投資公社(IIC)は、中南米地域の中小企業に対する投融資を行っている機関であり、一般に米州開発銀行(IDB)とあわせて米州開発銀行グループと呼ばれることが多い。比較的中所得国の多い中南米地域において、さらなる持続的な発展のためには民間企業の活性化が不可欠であり、我が国はこうしたIICの機能を評価している。我が国は、IICに対する出資を反映して3.8%の投票権を有している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
2005年4月にIDBグループ内の民間部門局(PRI)及び米州投資公社(IIC)、多数国間投資基金(MIF)の3民間事業部門の分立を維持しつつ相乗効果を高める方策がとられ、現在IDB民間部門コーディネーターを中心に協調を進め開発効果を高める取り組みがなされている。また、IICは中南米諸国の中小企業支援ニーズに応えるため、2008-2010ビジネスプランを策定し、当該プランに基づき、堅実な財務状況の維持、貸出額の増加を目指しており、我が国はIICのこれらの取り組みを評価。					
邦人職員数	0人	当該機関の職員数及び		77人	
うち幹部以上	うち0人	邦人職員が職員全体にしめる率		0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
我が国は、日本人の幹部ポストでの登用を図るよう、機会あるごとに申し入れている。					